

文化財ニュース いわき

第 47 号

平成 7 年 5 月 19 日

財団法人いわき市教育文化事業団

福島県いわき市中央台県立いわき公園内

TEL 0246(29)0391

海をわたってきたやきもの

— 市内発見の輸入陶磁器の紹介 —

こくさいほうえきこう おはは
国際貿易港小名浜をもついわき市は、福島県の海の玄関口として重要な役割を果たしています。この夏に行われる国民体育大会でも、ヨット競技の会場にいわき市が選ばれ、港湾施設の整備が進んでいます。

ところで、いわき市内の遺跡からは輸入陶磁器ゆにゅうとうじき（外国でつくられたやきもの）が福島県内でもっとも多く出土することでも有名です。こうした陶磁器は、はるばる海をわたって日本に運ばれたものです。



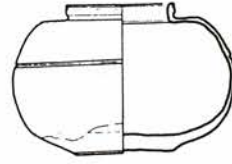
第1図 オランダ皿

中国のやきもの

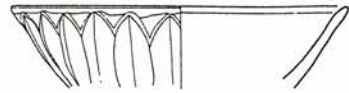
第2図のやきものは、中国龍泉窯(第3図)
 でつくられた青磁です。いわき市内郷御厩町
 の番匠地遺跡から出土しました。上は香炉、
 下は華瓶(花瓶)です。どちらも中国の元の時
 代の製品で、唐草や鹿の文様が浮彫り状に描
 かれ、深い緑色のうわ薬がかけられています。

これらは床の間の飾りに使用されたやきも
 ので、2点とも国内で例をみない最高級品で
 す。番匠地遺跡は、身分の高い武士の屋敷跡
 と推定されている遺跡であり、このほかにも
 大量の中国製の青磁・白磁・染付(青花)や
 日本のやきものが出土しており、居住者の豪
 奢な暮らしぶりがうかがえます。

第4～5図は、いわき市平上荒川の荒川館
 (14～15世紀の城跡)出土。第6～7図
 は下荒川の龍門寺遺跡(16世紀の屋敷跡)
 出土の中国陶磁器です。わが国の戦国時代の
 遺跡を掘ると、国産の陶器(瀬戸・美濃)と
 ともにこうした中国陶磁器がどこでも出土し
 ます。これらのやきものは、高級品というよ
 りもこの時代の日常用品であり、下級の武士
 や一般庶民までが中国陶磁器を使用していた
 ことがわかります。



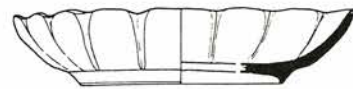
第4図 鉄釉茶入れ



第5図 青磁蓮弁紋碗



第6図 青花玉取獅子皿



第7図 青磁輪花皿

ヨーロッパのやきもの

第1図はオランダ皿です。いわき市渡辺町の岸遺跡から出土しました。

19世紀の中頃（日本では江戸時代の終わり、幕末の頃）、オランダのマスターヒトで製作されたやきものです。破片資料ですが、復元すれば25cmほどの大きさの皿になります。文様は白地に南国風の樹木がワインカラーで描かれ、たいへんおしゃれな皿です。このオランダ皿が出土している遺跡は全国でも三十数箇所しかなく、長崎の出島、彦根藩家老屋敷、江戸の武家屋敷など階層の高いところから出土する例が多いといわれています。岸遺跡は名主クラスの屋敷跡と考えられます。岸遺跡のオランダ皿は、オランダ東インド会社を通じて長崎出島のオランダ商館に運ばれ、日本国内に流通したと考えられています。



第2図 中国青磁



第3図 中国の主な窯業地

いわきからの情報発信

初夏一番の文化財だより

^{もっかん}
 ❶ いわきの木簡等全国巡回展へ出品

文化庁主催の初めての「新発見考古資料展」が東京国立博物館（6月20日～7月23日）を皮切りに、全国7個所で開催されます。今話題の青森・^{さんないまるやま}三内丸山遺跡、山形・^{どく ぎし かしん でん}西ノ前遺跡の日本最大の土偶、魏志倭人伝にある一岐^{いさ}くに^{かみよど はいじ}国の中心と判明した長崎・原の辻遺跡、鳥取・上淀廃寺の壁画片等昨年度話題を集めた考古資料を速報的に展示公開するものです。福島県ではただ1遺跡^{あつめ じょうり}「荒田目条里遺跡」出土の木簡・^{さいし}絵馬・祭祀資料が出品される予定です。ぜひ上野の森までおでかけ下さい。

❷ 新年度のいわきの発掘現場

今年度も開発に伴う発掘調査が実施されることになりました。^{じょうばんどうえんしん}常磐道延伸^{あかい}関係の遺跡の発掘調査は県文化センターで調査するほか、事業団でも赤井・^{おひら よしま}大平C遺跡、好間・上ノ台遺跡を調査します。また、泉第3土地区画整理関係の泉町C遺跡も調査が始まりました。常磐バイパス最後の発掘調査となった荒田目F1遺跡・同関連個人宅地内遺跡の調査は、すでに現地調査は終了しました。昭和62年から9年間にわたり連続して発掘調査した常磐バイパスの調査はすべて完了したわけで、今後は整理・報告書作成業務に移ります。

❸ 「暮らしの伝承郷」事業開始^{でんしょうのさと}

現在の事業団本部のある地区に、市では新しく「暮らしの伝承郷」事業を実施することになりました。計画によれば、いわき市の代表的民家数棟を移^よ築し、収集した民俗資料を活用する由です。敷地内には水田や畑を設けて、実際に作物を栽培^{さいがい}し、伝統食・保存食を試食したり、昔の行事を再現したり遊びを体験する等種々のイベントも考えられているようです。